

第一次朝来市行財政改革大綱

人と緑 心ふれあう 交流のまち “朝来市” を目指して

朝来市行財政改革推進委員会からの答申を受け、以下のとおり「第一次朝来市行財政改革大綱」を策定しましたので全文を掲載いたします。

はじめに

平成の大合併という時代潮流の中、平成17年4月“朝来市”は新しい歴史を歩み始めました。

合併により健全な自治体運営が期待され、その一方では、地方分権と三位一体改革の推進、少子高齢化による人口減少時代を迎えるなど、自治体財政を逼迫させる諸要因は予想を上回るスピードで進展しており、持続可能な朝来市の基盤づくりを図るためには自助努力による思い切った改革を進めなければならない状況にあります。

このたび、朝来市行財政改革推進委員会にて審議いただき答申をいただいた内容を基本として『第一次朝来市行財政改革大綱』をまとめました。

朝来市は、本年度を行財政改革の初年度と位置付け、市民の皆様のご理解とご協力の下、明るい未来ある朝来市の実現に向けた取組を進めてまいります。

平成18年11月

朝来市長 井上英俊

I 行財政改革への取組

1 目的

今後も益々加速することが予想される少子・高齢化による人口減少時代を迎え、歳入の伸び悩みに加え、社会保障費の増加など、地方自治体を取り巻く行財政運営は極めて厳しい状態にあります。

また、地方分権の時代を迎え、行政は自らが担う役割を重点化するなど、自治体運営を持続可能にしていく展開が求められるとともに、公共を行政のみが担うのではなく、市民が生き生きとして地域社会に関わり、地域の様々な主体が行政と協働して公共を担う「新しい公共空間」を形成していく必要があります。

そこで、新しい視点に立つて不断に行財政改革に取組み、今日の公共のあり様を刷新していくことが必要であり、これまで以上に簡素で効率的な行政運営はもとより経営の視点に立った抜本的な改革を実行していかねばなりません。

朝来市は、改革の時代にふさわしい行政システムを確立する指針として「朝来市行財政改革大綱」を策定し、市の将来像 “人と緑 心ふれあう 交流のまち” の実現に向け、自考・自行、共助・共創のまちづくりを市民とともに推進いたします。

2 基本方針

(1) 市民が主役のまちづくり

市民が生き生きとして地域社会に関わりながら活動する分権型社会における「新しい公共空間」の形成を目指すため、市民と行政が相互に連携・分担するシステムの構築を進めます。

また、市民の信頼と期待に応える行政運営を推進するため、行政自らが積極的な情報公開（提供）や十分な説明責任の履行に努め、市民が主役のまちづくりを進めます。

(2) 信頼される市役所づくり

市民ニーズを的確に把握し、常にコスト意識やスピード感覚を持つ職員育成を行うなど、政策実現に向けた

職員の能力開発に努めます。

また、行政業務の省力化・効率化を図り、政策に沿った組織に絶えず見直ししていくとともに、市民の利便性の向上と市民に開かれた行政の実現のため、行政と市民のネットワーク整備に努め、市民に身近で信頼される市役所づくりを進めます。

(3) 効率的な行政経営のシステムづくり

行財政改革の取組は、持続可能な自治体運営を実現するためのものであり、市民ニーズの的確な把握に努め、市民の理解と協力を得ながら真に必要な事務事業を精選（選択と集中）するなど、地域戦略本部としての役割を追求します。

また、より良いサービスをより効果的に市民に提供するため、市民の目線と感覚、成果重視の観点、コスト意識に根ざした “行政を経営する” という視点に立った、効率的な行政運営（経営）のシステムづくりに努めます。